

母 娘 共にバチルス入浴療法で脱ステロイドに成功 きれいな肌が戻った。

15 歳 女性 入院 2013.1.5～2013.3.20

幼少児 乾燥肌 小学1年 犬を室内で飼い始めて翌年頃から皮膚炎が生じ、小学3年生～背部に湿疹 近医にてアトピー皮膚炎の診断を受けステロイド外用治療を受け始め2年ほどで改善した。中学入学後から悪化し全身性に皮膚炎が出現し、アトピー専門医や小児科にてステロイド治療を受けていたが3年生になった1年前から顔から下の体幹部の皮疹が悪化 ステロイドを強化したが8月からコントロール不良 10月から全身に炎症が拡大 鍼灸、可視光線治療も併用したが夜間も痒みで眠れなくなり 12/27 当院受診 1/30 に高校受験を控えていたが 12/27 入院、バチルス入浴療法を行った。

経過

入院後 脱ステロイドのリバウンドで皮膚炎も悪化 初めての一人暮らし 受験生としてのプレッシャーもあり2週間は毎日 泣いてばかりだったが次第に皮膚炎が軽減するにつれ明るさを取り戻していった。入院中に受験も済ませ 4月からは自宅通学しながら毎日 バチルス入浴療法をお母さんと一緒にやっている。皮膚炎は退院後も順調に改善アトピーマーカーも低下し LDH 好酸球は正常値になっている。TARC はまだ正常値以上だが入院時の 55 分の 1 になっている。肌は正常状態に近くまで回復している。

	基準値範囲	2012/12/27	2013/1/25	2013/2/21	2013/3/19	2013/6/8	2013/10/5	2013/11/16
TARC	450 以下	63481	27390 ↓	9273 ↓	3980 ↓	4055 ↓	3012 ↓	1154 ↓
LDH	120～245	659	495 ↓	333 ↓	318	332	243 ↓	200 ↓
IgE	170 以下	48803	49319	37855 ↓	26394 ↓	27456 ↓	22069 ↓	22523
好酸球	7%以下	19.0	18.0	32.0	29.0 ↓	17.8 ↓	16.0 ↓	6.6 ↓





2013.1.05



2013.11.16



母 44歳 入院ではなく自宅で2か月半休職療養

30代に2人目出産後から湿疹あり時々ステロイド外用使用、2000年より首から下の全身に湿疹が生じるようになり、アトピーの子供さんと同じ弱いステロイド軟膏を使用していた。

しかし コントロールできず 夏は汗で最も悪化 冬は乾燥でそう痒が悪化する事を繰り返していた。

娘さんの付き添いとして2012.12.27 当院受診 脱ステロイド療法を開始したがリバウンドで皮膚炎悪化 2/14 から職場を休職し

自宅でバチルス入浴療法開始 ヘルペス感染なども合併し一時は家事すらできなくなったが次第に改善 2か月半後に職場に復帰できた。

長年のステロイドを離脱できたと共にアトピー性皮膚炎のコントロールが達成できた。

娘さんは当院での入院治療を行い。お母さんは自宅でバチルス入浴療法を開始し二人とも皮膚はほとんど普通肌になりました。

	基準値範囲	2013/12/27	2013/2/2	2013/3/8	2013/4/13	2013/6/8	2013/7/22	2013/10/5
TARC	450 以下	2078	3899	11000 ↑	10032	3718 ↓	1165 ↓	654 ↓
LDH	120~245	264	274	416 ↑	361 ↓	346 ↓	251 ↓	192 ↓
IgE	170 以下	1865	2075	3076 ↑	8860 ↑	8571	8436	5253 ↓
好酸球	7%以下	2.8	14.0	27.0 ↑	20.0 ↓	13.4 ↓	9.3 ↓	5.6 ↓
POEM 自覚症	最重症 20~28	16	16	18 ↑	21	20	12 ↓	1 ↓



